

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名：乳幼児発達・保育分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	乳幼児期は、生涯発達の基盤を形成する極めて重要な時期であり、この時期の成育環境保証は世界的にも注目される喫緊の社会課題である。わが国でも乳幼児期の保育・教育の重要性の認識と保育ニーズの急激な高まりに呼応して、子ども子育て支援新制度や幼児教育・保育無償化が試行されるなど、制度・政策面での大改革が進んでいる。 そのあり方を吟味するためには、乳幼児期の発達の基礎メカニズム及び、発達を支える子育て・保育に関わる哲学・思想、制度・政策、実践に関わる様々な分野の学術知見を統合的に検討する必要がある。本分科会では、心理学及び教育学を中心に、関連領域の知見も踏まえながら、多様な視座から乳幼児期の発達・保育の課題を検討し、必要な提言を行うことを目的とする
4	審議事項	乳幼児期の発達の基礎メカニズム及び、発達を支える子育て・保育のあり方に関する審議
5	設置期間	令和2年12月24日～令和5年9月30日
6	備考	※新規設置